

大分大学医学部附属病院 低侵襲手術のあゆみ

- 1991年 世界初の胃がん腹腔鏡手術（北野学長）
…… 内視鏡手術の普及および教育・研究の推進
- 2012年 **手術用ロボット da Vinci®** 導入
- 2015年 サージカル・ラボセンター開設（手術教育）
- 2016年 アジア内視鏡外科推進機構設立（手術教育）
- 2018年 **低侵襲手術専用ルーム(3D/4K/IR)** 設置
- 2019年 **8K内視鏡手術** 導入
カダバーラボ 開設（手術教育）
世界初の**AI搭載内視鏡手術** 臨床性能試験実施
- 2022年 **低侵襲手術センター**開設
手術用ロボット hinotori™ 導入



手術用ロボット



低侵襲手術専用手術室



AI搭載内視鏡手術

ロボット支援手術 年次推移



腎臓外科・泌尿器科
2012年12月～



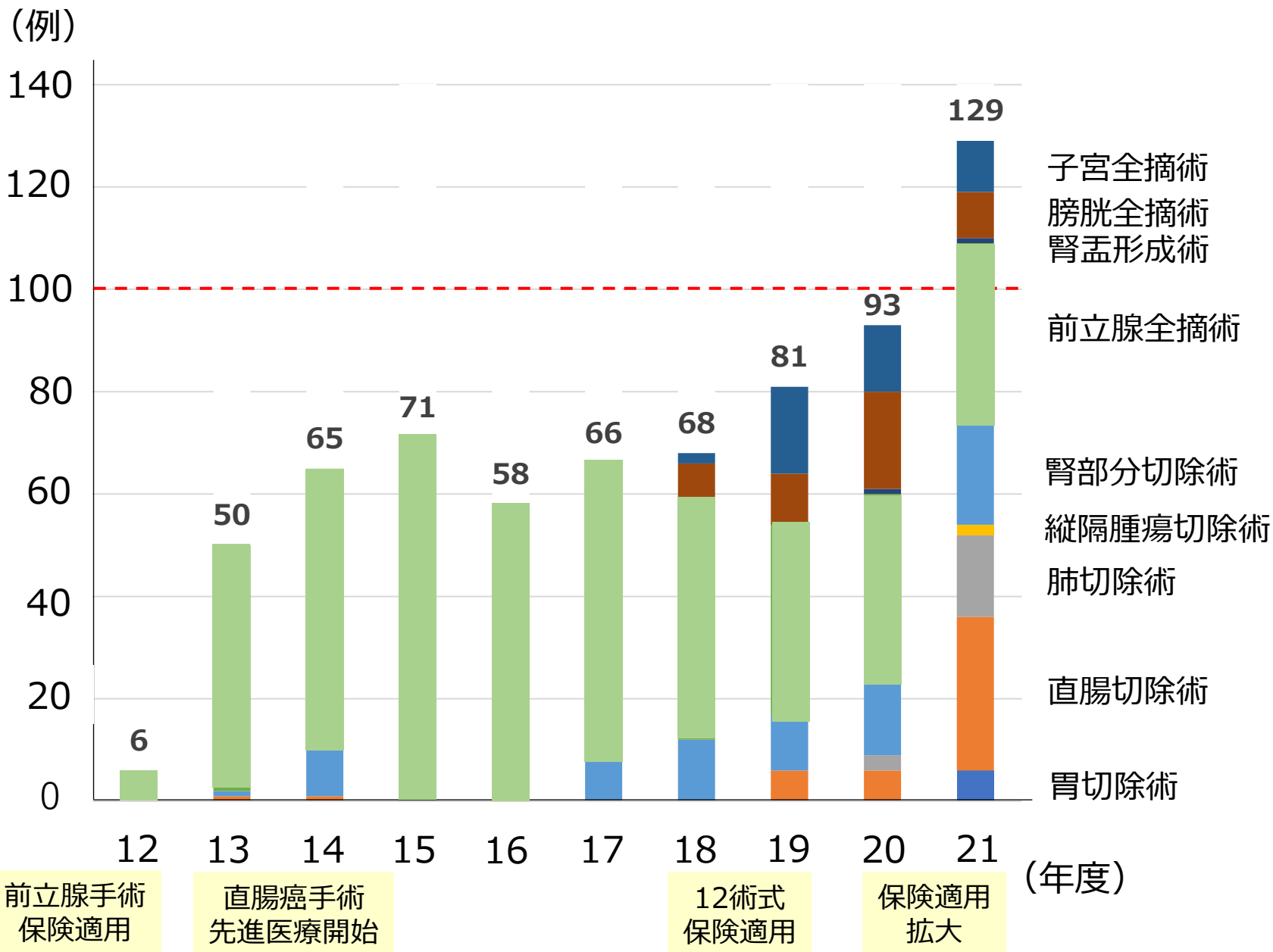
消化器外科
2013年12月～



産婦人科
2019年1月～



呼吸器外科
2020年11月～



低侵襲手術センターの概要

新たな低侵襲手術（ロボット支援手術など）の導入・実施における3つの役割

運営の効率化

医療安全管理

高度医療人育成

【組織図】

センター長

副センター長

ロボット支援手術を行う
各診療科の医師※

手術部
(手術部副部長)

看護部 (看護師長)
・手術部担当
・材料部担当

ME機器センター
(臨床工学技師)

その他センター長が
必要と認めた者

※R4.8.1時点 消化器外科、呼吸器外科、腎臓外科・泌尿器科、産科婦人科
ロボット手術を導入した診療科を随時追加する。

大分大学附属病院におけるロボット手術運用の特色

1. Da Vinci[®] および hinotori[™]導入による2台併用運用



da Vinci[®]

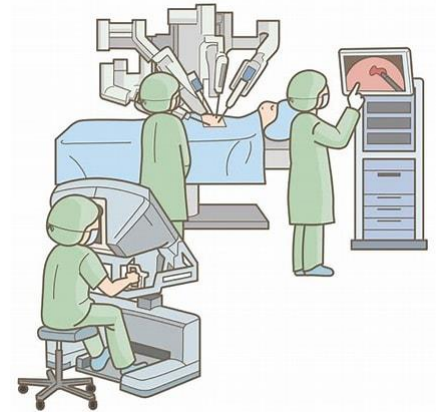


hinotori[™]

ロボット手術の特色

- ・遠隔操作
- ・3Dハイビジョン画像
- ・多関節機能
- ・手ブレ防止 など

ペイシャントカート
(ロボット本体)



サージション・コンソール
(ロボット操縦席)

2. 幅広い疾患に対応した運用 (2022年9月1日現在)

腎臓外科・泌尿器科

- ・前立腺がん
- ・腎細胞がん
- ・膀胱がん
- ・腎盂・尿管がん
- ・副腎腫瘍

消化器外科

- ・直腸がん
- ・胃がん
- ・食道がん
- ・結腸がん

産婦人科

- ・子宮筋腫
- ・子宮体がん
- ・子宮頸がん
- ・卵巣がん

呼吸器外科

- ・肺がん
- ・縦隔腫瘍

今後の予定

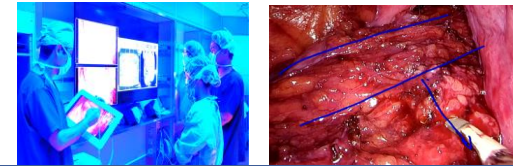
心臓血管外科

耳鼻咽喉科

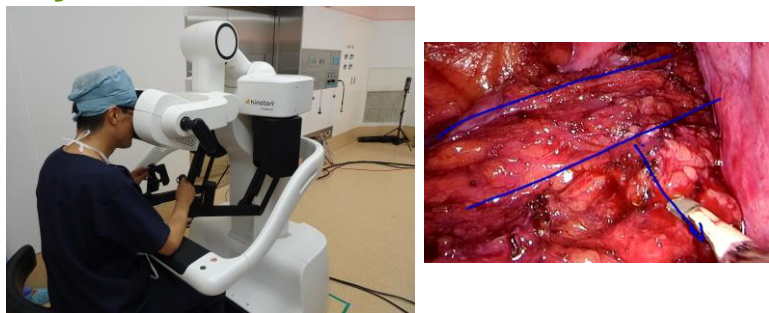
低侵襲手術センターの展望

- ✓ からだに優しい**精度の高い安全な手術**の普及
- ✓ 高度な技術を要する**医療人育成**の推進
- ✓ **遠隔手術指導**による大分県におけるロボット支援手術の安全な普及

* モニター間におけるアノテーション



アノテーション*で指導



大分大学附属病院手術室

5G



遠隔手術指導



アノテーション*画像を参考に手術



地域中核病院